

# 地域に学び地域と共に生きる北中山っ子

鯖江市北中山小学校

1 取り組み概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2
中学校区を単位とした協議会	0
地域及び家庭への学校公開	4回(のべ)5日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	33人
授業ボランティア(含:低ボラ)	314人
登下校支援ボランティア	1,592人
その他(学校給食ボランティア)	141人

(3) 特色ある活動

テーマ	「地域を学び、地域で学び、地域から学ぶ」
-----	----------------------

具体的活動内容

※心の教育の充実 地域と連携したボランティア活動

【①】「読み語り」



① ボランティアによる週1回の「読み語り」が、児童の読書意欲の向上につながり、児童の読書量が増加した。

【②】「米づくりボランティア」

② 米作りボランティアの方の協力を得て、農業体験活動を推進していった。5月田植えと9月の稲刈り時には、30名のボランティアの協力を得て、8.5俵の収穫があり、学校給食や高学年の家庭科学習に利用することができた。



【③】「親子奉仕作業」



③ 親子奉仕作業を9月11(日)行い、児童・保護者・教職員440名の参加による奉仕活動が行われた。特に6年生は、校舎全部のトイレの便器を親子で綺麗にする活動を行い、自分の心も磨く体験活動を行った。

【④】学校給食ボランティア



【⑤】「ありがとう集会」



④ 学校給食畑で今年度も30名の方の協力を得ることが出来た。ジャガイモ215kg、大根41.5kg、白菜80.7kg、キャベツ30kgの収穫があり、全て学校給食に利用することができた。

⑤ 今年で6回目の「ありがとう集会」学校ボランティア39名(読み語り・クリーンサークル・登下校・学校給食畑)の方の参加があり、合唱・合奏とボランティアの方々と一緒に昔遊びを行い、日頃の感謝の気持ちを届けた。

成果と課題

(1) 成果について

- ・「読み語り」ボランティア、委員会活動により、漫画本から活字だけの本へと内容の向上が見られ、3・4年生の児童は多読賞達成80%以上になった。
- ・あいさつカードや強調月間の設定などにより、あいさつ、返事、「ありがとう」が素直に言える子どもづくりを目指し、地域学校協議会の委員から地域の中でもあいさつがしっかりできていると多数の委員から意見が出され、学校から地域へ子どもたちのあいさつが広がっている。
- ・学校だよりやHPによる情報発信で、地区回覧を活用し学校だよりを全戸が見られるようにするとともに、HPについても授業日の毎日更新に努力し4/13以来の累計アクセス1万件を超えた

(2) 課題および次年度に向けて

- ・80名近いボランティアの方々と学校側との連絡調整が十分出来な時間帯を作ったり、不登校児を出さないための組織的な取り組みとの連携のあり方を考えて行かなければいけない。